

安全データシート

(Safety Data Sheet)

1. 化学品及び会社情報

会 社 名 : 有限会社 秋山産業
住 所 : 大阪府寝屋川市小路北町 7 - 2 9
担 当 部 署 :
電 話 番 号 : 072-822-6936
緊急連絡先 : 072-822-6936
F A X 番 号 : 072-822-6932
作成改訂日 : 2021 年 11 月 1 日

製 品 名 : A S バレルコンパウンド A S - A C - D eco

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性 : 爆発物 分類対象外
: 可燃性又は引火性ガス 分類対象外
: エアゾール 分類対象外
: 支燃性又は酸化性ガス 分類対象外
: 高压ガス 分類対象外
: 引火性液体 分類できない
: 可燃性固体 分類対象外
: 自己反応性化学品 分類対象外
: 自然発火性液体 分類対象外
: 自然発火性固体 分類対象外
: 自己発熱性化学品 分類対象外
: 水反応可燃性化学品 分類対象外
: 酸化性液体 分類できない
: 酸化性固体 分類対象外
: 有機過酸化物 分類対象外
: 金属腐食性物質 分類できない

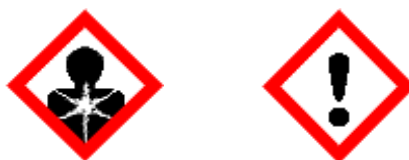
健康有害性 : 急性毒性（経口） 分類できない
: 急性毒性（経皮） 分類できない
: 急性毒性（吸入、気体） 分類対象外
: 急性毒性（吸入、蒸気） 分類できない
: 皮膚腐食性または皮膚刺激性 区分外

: 眼に対する重要な損傷性または眼刺激性 区分外
 : 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 3（気道刺激性）
 : 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1
 : 急性毒性（吸入、粉塵・ミスト） 分類できない
 : 皮膚腐食性／刺激性 区分外
 : 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分 2 A
 : 呼吸器感作性 分類できない
 : 皮膚感作性 分類できない
 : 生殖細胞変異原性 区分 2
 : 発がん性 区分 2
 : 生殖毒性 区分 2
 : 生殖毒性・授乳影響 授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分
 : 特定標的臓器毒性（単回暴露） 区分 1（肝臓）
 区分 2（腎臓、呼吸器系、全身毒性、中枢神経系、血液）
 : 特定標的臓器毒性（反復暴露） 区分 1（気道）
 区分 2（血液、肝臓、腎臓、脾臓、血管）
 : 吸引性呼吸器有害性 分類できない

環境有害性 : 水生環境有害性・急性 区分 3
 : 水生環境有害性・慢性 区分 3
 : オゾン層への有害性 分類できない

【GHS ラベル概要】

絵表示またはシンボル：



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 強い眼刺激
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がんのおそれの疑い
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
 肝臓の障害
 中枢神経系，呼吸器系，血液，腎臓，全身毒性の障害のおそれ
 長期にわたる又は反復ばく露による気道の障害

長期にわたる又は反復ばく露による血液，脾臓，血管，肝臓，
腎臓の障害のおそれ
水生生物に有害
長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

<安全対策>

- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後はよく洗うこと。
- 妊娠中および授乳期中は接触を避けること。
- この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 環境への放出を避けること。
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

<応急措置>

- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。

<保管>

施錠して保管すること。

<廃棄>

内容物／容器を（国際／国／都道府県／市町村の規則に従って）廃棄すること。

国／地域情報：特になし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

	成分	官報公示整理番号（化審法・安衛法）	CAS番号
①	脂肪酸アルカノールアミド	8-311	68603-42-9
②	脂肪酸塩	2-611	61789-30-8
③	亜硝酸塩	1-483	7632-00-0
④	イソプロピルアルコール	2-207	67-63-0
⑤	水	対象外	7732-18-5

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温して安静を保つ。状況に応じて医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を多量の水かぬるま湯を流しながら石鹸を使ってよく洗い落とす。皮膚の弱い人は保護クリーム等を塗布する。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、医師の診察を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに多量の流水で15分以上洗眼する。
洗眼は瞼を指で開き全面に水がよく行き渡るように洗う。
異常を感じる場合は直ちに医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水でよく口の中を洗う。
水、牛乳又は食塩水を飲ませ吐き出させ（無理に吐き出させてはいけない）医師の診察を受ける。
もし、意識がない場合は吐かせたり口から何も与えてはいけない。
-

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、泡、炭酸ガス、水、乾燥砂など
使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（又はガス）が発生するおそれがあるため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火作業は、安全眼鏡やゴム手袋等の保護具を、また状況に応じて呼吸用保護具を着用し、風上から行う。
関係者以外は、安全な場所に退避させる。周辺火災の場合は漏出防止や加熱分解防止等の目的で直ちに他の安全な場所に移動する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
- 保護具及び緊急時措置 : 適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収・中和 : 空容器に回収し、ウエス等で拭き取り、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。

封じ込め及び浄化の方法・機材：危険でなければ漏れを止める。ステンレス、ポリ容器等プラスチック製を用いる。

二次災害の防止策：情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

技術的対策：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

注意事項：火気注意

安全取扱注意事項：取扱いは換気の良い場所で行う。

【保管】

保管条件：容器は直射日光を避け、乾燥した場所に貯蔵し、密閉して空気の接触を避ける。

容器包装材料：納入時の容器での保管が望ましい。差し替える際はステンレス、ポリエチレン容器またはそれに準ずる構造。

8. ばく露防止及び保護措置

【製品の管理濃度、許容濃度】

管理濃度：設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会：設定されていない

ACGIH：設定されていない

【設備対策】

取り扱い場所近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

【保護具】

呼吸用保護具：防塵マスク

手の保護具：ゴム手袋

眼の保護具：側板付き普通眼鏡型またはゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具：保護衣、保護長靴

衛生対策：取扱い後は良く手を洗うこと

9. 物理的及び化学的性質

外観：液体

色：無色～淡黄色透明

臭い	: 特有臭
pH	: 8.9 ± 0.5 (現役)
融点・凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
爆発または爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: 1.0 ~ 1.1
溶解度	: 水に易溶、アルコールに可溶
オクタノール／水分配係数	: 不燃性
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 熱、光、衝撃に対して安定である。ただし、40℃以上の高温下での長期放置は品質劣化を起こすので避けること。
危険有害反応可能性	: 自己反応性はない。
避けるべき条件	: 利用可能な情報はない高温下での保管、酸性物質との接触。
混触危険物質	: 酸性物質。
危険有害な分解生成物	: 酸性物質と反応し有害ガス（酸化窒素ガス）を発生する恐れ。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: データ不足のため分類できない。
急性毒性（経皮）	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	: 区分2Aの成分が≥3%のため、区分2Aに該当。
皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: 区分2の成分が≥1%のため、区分2に該当。
発がん性	: 区分2の成分が≥1%のため、区分2に該当。
生殖毒性	: 区分2の成分が≥3%のため、区分2に該当。
生殖毒性・授乳影響	: 該当する成分が≥0.3%のため、授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分に該当。
特定標的臓器毒性、単回ばく露	: 区分1（肝臓）の成分が≥10%のため、区分1に該当。 区分2（呼吸器系、腎臓）の成分が≥10%のため、区分2に該当。 区分1（血液）、区分1（中枢神経系、全身毒性）の成分が≥1%のため、区分2に該当。

特定標的臓器毒性、反復ばく露 : 区分 1 (気道) の成分が $\geq 10\%$ のため、区分 1 に該当。
 区分 2 (肝臓、腎臓)、区分 2 (血液)、区分 2 (脾臓、血管) の各成分が $\geq 10\%$ のため、区分 2 に該当。
 吸引性呼吸器有害性 : 動粘性率が不明のため、分類できない。
 その他 : 情報なし

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性) : (急性 1 $\times 100 \times$ 毒性乗率) + (急性 2 $\times 10$) + 急性 3 = 206% で 25% 以上の
 のため、区分 3 とした。
 水生環境有害性 (慢性) : (慢性 1 $\times 100 \times$ 毒性乗率) + (慢性 2 $\times 10$) + 慢性 3 = 190% で 25% 以上の
 のため、区分 3 とした。
 オゾン層への有害性 : 知見なし
 残留性・分解性 : 情報なし
 生態蓄積性 : 情報なし
 土壌中の移動性 : 情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄物においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは
 地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処
 理する。
 廃棄物の処理を受託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充
 分告知の上処理を委託する。
 汚染容器及び包装 : 容器は清浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の
 基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

1 4. 輸送上の注意

【国際規制】

国連番号 : 該当しない
 国連分類 : 該当しない
 副次危険 : 該当しない
 容器等級 : 該当しない
 海洋汚染物質 : 該当しない

【国内規制】

輸送の特定の安全対策及び条件 : 取扱注意事項等の注意の項の記載による他、運搬に際して
 は容器・包装に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損

傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 該当法規に従い、包装・表示・輸送を行う。

15. 適用法令

【国内適用法令】

化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない

労働安全衛生法 :

	第57条（令第18条）名称等を通知すべき有害物			含有量(%)
④	第57条の2（令第18条の2）	No.494	イソプロピルアルコール	1～4

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

火薬類取締法 : 該当しない

高压ガス保安法 : 該当しない

消防法 : 該当しない

化審法 : 該当しない

船舶安全法 : 該当しない

航空法 : 該当しない

海洋汚染防止法 : Y類物質を含む

16. その他の情報

【問い合わせ先】

会社名 : 有限会社 秋山産業

住所 : 大阪府寝屋川市小路北町7-29

電話番号 : 072-822-6936

FAX番号 : 072-822-6932

【引用文献】

- 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム（GHS）改訂5版
- GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（JIS Z 7253）
- GHSに基づく化学物質等の分類方法（JIS Z 7252）化学物質等安全データシート（MSDS）－第1部：内容及び項目の順序（JIS Z 7250）
- GHSに基づく化学物質等の表示（JIS Z 7251）
- 製品安全データシートの作成指針（改定版）、（社）日本化学工業協会、平成13年10月
- 14906の化学商品（化学工業日報社）
- 化学大辞典（東京化学同人）
- 危険物ハンドブック（ギェンター・ホンメルン編）
- GHS混同物分類判定システム（ver1.3）（経済産業省）
- 本製品に使用の原料メーカー発行の製品安全データシート

このSDSは、当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。また、特別な取扱いをする場Ⓜには、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。また、本品の適性に関する決定は、使用者の責任において行って下さい。